

Umios グループ 環境方針

1. 基本的な考え方

私たち Umios グループは、地球環境と共存したビジネスモデルを構築することが、企業としての持続的成長のために不可欠であると考えています。「気候変動問題への対応」、「循環型社会実現への貢献」、「海洋プラスチック問題への対応」、「生物多様性と生態系の保全」といった重点課題を柱に、「環境価値」の創造をめざします。

2. 適用範囲

本方針は、Umios グループに属するすべての役員および従業員に対し適用します。

Umios グループの事業は様々なビジネスパートナー^{*1}との関係性により成り立っています。Umios グループが本方針を実現するためには、ビジネスパートナーの皆様のご協力が不可欠であり、すべてのビジネスパートナーが本方針を支持し、環境保全に努めていただくよう継続的に働きかけを行ってまいります。

3. 取組み内容

(1) 環境マネジメント

環境マネジメントシステムを効果的に運用し、大気・水・土壌・気候・生物多様性・海洋など当社の事業に関わる環境影響を適切に特定・評価・管理します。また、定期的な監視と評価を通じて、実効性を確保し環境負荷低減に努めます。

(2) 法令順守

環境関連の法規制及びステークホルダーとの協定、自主基準等を順守し、透明性のある企業運営を行います。

(3) 環境資源の持続可能性配慮・向上

- 1) 事業活動全体から排出される温室効果ガスの削減に取り組み、持続可能な資源を有効に使用するとともに、環境負荷の極小化、気候変動の緩和・適応に努め、2050年ネットゼロ実現を目指します。
- 2) 持続可能な資源を有効に使用するとともに、3R(リデュース・リユース・リサイクル)+リニューアブルを促進し、廃棄物の削減を図ります。包装分野においては環境配慮設計に基づいた開発を推進します。
- 3) 海洋資源をはじめとした生物多様性に配慮し、ネイチャーポジティブに寄与する活動に積極

的に取り組みます。

4) 環境に配慮した製品・サービスを提供します。

5) 水使用の効率化と水質管理の徹底に取り組み、限られた水資源の保全に努めます。

(4) ステークホルダーとの対話

環境経営に関わる企業情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。加えて、従業員一人ひとりが環境問題を自分事として捉えられるよう、継続的な教育と啓発活動を実施します。当社は、地域コミュニティ、専門家、行政、NGO 等との対話を重視し、意見を環境施策の改善に反映します。

(5) 情報開示

Umios グループは、本方針に基づく環境保全の取組みの進捗状況を継続的にモニタリングし、必要に応じて改善していきます。Umios グループのウェブサイト等で、本方針の浸透に向けた取組みやその進捗に関する情報を、適切に開示します。

Umios 株式会社

代表取締役社長 池見 賢

改訂：2026 年 3 月 1 日

制定：2008 年 4 月

※1 ビジネスパートナー：当社の事業活動に関連して取引関係を有するすべての第三者を指し、サプライヤー、販売代理店、サービス提供者、共同事業者、請負業者などを含みます。また、当社の製品やサービスの提供に直接または間接的に関与する事業体を含み、バリューチェーン全体における関係者を対象とします。